

生活に身近な『流れ』

～流れを可視化すると何がわかるか～

「可視化」とは、**"見えないものを見えるようにする"** 技術です。

このフォーラムでは「"流れ"の可視化」の実例を示し、
地球温暖化などの社会が直面する様々な課題に対して、
どのような科学的な手法が使われているかを"やさしく"説明します。
皆様のご参加をお待ちしています。

日時：2014年 3月 15日 **土曜日** 13時00分～16時00分
(開場：12時30分)

場所：東広島市市民文化センター・アザレアホール
(東広島市西条西本町28-6 Tel: 082-424-3811)

対象：中高生・大学生・一般の皆様 (小学生も大歓迎!)

参加費：**無料** (参加申込み不要、定員200名・先着優先)

※5名以上の団体でご参加いただく場合には、事前にご連絡いただければ幸いです。

プログラム：

総合司会：鬼頭幸三 (広島大学産学・地域連携センター 産学官連携コーディネータ)

開会挨拶：中山泰喜 (東海大学教授, 未来技術研究所所長)

中山 泰喜 (東海大学 教授, 未来技術研究所 所長)

縄文土器の謎：5000年前の古代人の知恵

速水 洋 (九州大学 名誉教授)

流れの観察とおもしろさ：歴史と可視化の手法

農沢 隆秀 (マツダ(株) 技術研究所 所長)

クルマと流れ：流れの可視化が環境保全への道を拓く

中島 卓司 (広島大学大学院工学研究院 助教)

シミュレーションで見る流れの世界：コンピュータが実現する可視化

作野 裕司 (広島大学大学院工学研究院 助教)

鳥の目で見える海洋の様子：衛星が可能にしたダイナミックな可視化

主催：一般社団法人 可視化情報学会

共催：広島大学大学院工学研究科輸送・環境システム専攻

後援：文部科学省

問合せ先：広島大学産学・地域連携センター 鬼頭幸三

(e-mail: kashika@naoe.hiroshima-u.ac.jp Tel: 082-424-4308)



HIROSHIMA UNIVERSITY